

## 目 次

I. 総括研究報告	
エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究 -----	1
帖佐 悦男	
II. 分担研究報告	
1. フレイル・ロコモに対するハイリスクアプローチおよび ポピュレーションアプローチの経済的評価 -----	10
新開 省二	
2. ロコモティブシンドロームの疫学：住民コホートデータの解析 -----	18
吉村 典子	
3. The Simple Mobility Tests Can Predict Usage of Assistive Device for Ambulation in Older People -----	23
村永 信吾	
4. エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究 -----	29
帖佐悦男、荒川英樹、山口洋一郎、鶴田来美、舩元太郎、田島卓也、中村嘉宏	
5. エビデンスに基づいたロコモティブシンドロームの対策における 簡便な確認・介入方法の確立と普及啓発体制の構築に資する研究 -----	35
石橋 英明 (資料) 令和2年度ロコモコール講習図表	
6. 通所リハビリテーションを利用する要介護高齢者におけるロコトレの効果 ～ランダム化比較対照試験における検討～ -----	49
村永 信吾	
7. ロコモティブシンドロームの対策における簡便な介入方法の確立 -----	55
藤野 圭司 大町 かおり	
III. 研究成果の刊行に関する一覧表 -----	57